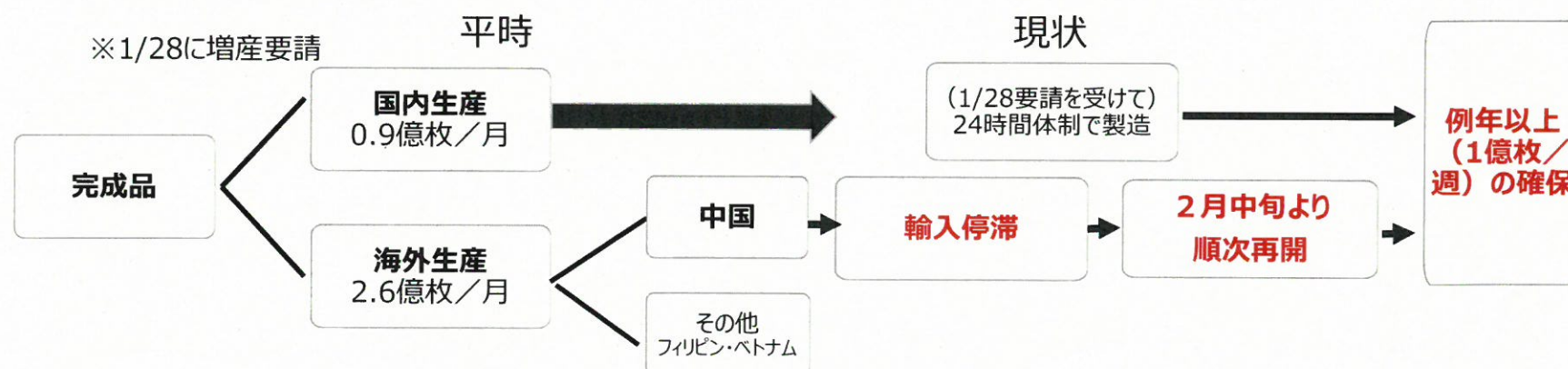


新型コロナウイルスによるマスク需給への影響と対策（一般用マスク）

現状

【需要】 2018年 43億枚／年（3.6億枚／月） ※ピーク時（例年2月） 5.8億枚／月

【供給（生産・輸入）】



【在庫】 メーカー・卸在庫はほぼ残っていない。薬局はどの店舗でも常時品薄状況（※）。
※入荷については、一部改善が見られるが、依然として見通しの立たない薬局もある。

対応

- ① **需要**：国民向けの情報発信や一人あたりの販売量の制限等の要請、転売規制の導入
- ② **供給**：増産要請や生産設備導入補助による国内生産体制強化、更なる輸入回復に取り組むことより、**3月中に6億枚超を確保**

新型コロナウイルスによる 消毒用エタノール需要への影響と対策

現状

【需要】 ※ドラッグストア各社や、製造メーカーへの厚労省・経産省からの聞き取り調査（～2/28）

- 一般用については、品薄の状態が継続し、今後の入荷の見込みがたたない店舗もある。
- 医療用については、製造し出荷するとすぐに発注が入る状況（既存の取引先医療機関との受注が優先される傾向にあるとのこと）
（注）一般用と医療用は、いずれもエタノール濃度は80%前後に設定。

【供給（生産）】 ※製造メーカーへの厚労省・経産省からの聞き取り調査（～2/28）。聞き取り先は全て国内製造であった

- **2月**は一般用・医療用を合わせて**昨年月平均比1.8倍**で増産（一か月間の生産量は合計**約170万L**。これは、**1日当たりの生産量は約2,800万回分**に相当※1回2mL換算）。今後も増産を継続予定。
- 製造キャパシティ（人員含め）以上の受注があり、生産が追いついていない状況。
- エタノール自体（原料は工業用エタノール）は逼迫していないものの、容器は大規模増産している大手製薬業者に集中しており、一部の中小製薬業者では確保が困難になっている

新型コロナウイルスによる 消毒用エタノール需要への影響と対策

対策

- 需要が急速に増加していることを踏まえ、厚労省から、メーカー団体及び卸団体に対して、増産を図る等の措置を講じるとともに、分割納入等により適正な流通を図るよう要請（2月12日）
- 厚労省から、施設の所有者やイベント主催者等が訪問者や職員等に使用させるため、手指消毒用エタノールを大きな容器で購入し、小分け容器に詰め替えて使うことができることを明確化（2月28日）
- 経産省から、3月14日以降、消毒液のネットオークション出品の自粛を要請（2月28日）
- 経産省から、3月14日以降、通常の電子商取引において、小ロットの商品のみの出品が可能になるよう販売事業者には要請（2月28日）
- 一般用の増産を円滑にするため、厚労省から、薬事規制上の取扱いについてメーカーからの相談に対応（随時）しつつ、消毒用エタノールの薬事上の取扱い（容器及び小分け詰め替え）についてメーカーに周知（3月3日）
- 厚労省から、都道府県が吸い上げた医療機関、高齢者施設等のニーズに対して優先供給するスキームについて、事務連絡を発出（3月13日）
- 需給の逼迫を少しでも改善するため、手指消毒用以外の高濃度エタノール製品を、やむを得ない場合に限り、代替品として使用して差し支え無い旨を周知（3月23日、時限的な特例措置）

マスクや消毒液やトイレトペーパーの状況 ～不足を解消するために官民連携して対応中です～

厚生労働省・経済産業省
2020年3月23日20:20更新

Q2 アルコール消毒液がない場合には、どのような対策が効果的ですか

石けんやハンドソープなどで手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。正しい手の洗い方については以下のページをご覧ください。

また、**机やドアノブなど物の表面には、0.05%の次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤（濃度約5%）等を希釈して使用）**による消毒が有効です。

- ▶ [厚生労働省 感染症対策へのご協力をお願いします（手洗い）](#)
- ▶ [厚生労働省 Youtubeチャンネル 正しい手洗い方法](#)

掲載元：<https://www.meti.go.jp/covid-19/mask.html>